

令和 2 年 4 月 20 日

学生諸君へ
保護者の皆様へ

清 和 大 学
学長 織田恭一

令和 2 年度前期授業をオンライン授業によって行うこととしました

【オンライン授業を行うことの背景につきまして】

新型コロナウイルスによる世界的な感染拡大が収束する傾向が一向に見えず、4 月 18 日午後 4 時現在、世界の感染者数 225 万人、死者数 15 万 4 千人、日本の感染者数も 9,787 人、死者数 190 人となり、首都東京でも連日のように感染者数が 100 人を超えるなど、未曾有の危機的状況となっています（出所、「米ジョンズ・ホプキンス大学まとめ」《2020.4.19 日経新聞》）。そのため、わが国政府は、令和 2 年 4 月 16 日、緊急事態宣言の対象を全国に広げると表明しました。

このような状況下、文科省も 2 度にわたり全国の大学等に通知を発し、面接（通常）授業中における学生や教員への感染防止のため、極力、面接授業の代替として遠隔授業を推奨していることから、多くの大学でもこの機会にオンライン授業に踏み切る状況となっています。

本学としても、来る 5 月 11 日（月）前期授業開始に当たっては、学生及び教職員の生命・健康を守るためには、従来からの面接授業を中止し、オンライン授業によって行う方法しかないと決断致しました。

学生及び保証人各位におかれては、かかる事情をご理解いただき、今回の措置に対してこれまでも増してのご協力をお願い申し上げます。

【具体的なお願い事項につきまして】

①オンライン授業を受けるに当たってのパソコン等機器の準備のお願い

オンライン授業を受講するためには、「清和大学メールのアカウント」「PC・タブレット（スマートフォンでも可）等の機器類」「インターネットの通信環境」を準備する必要があります。保護者の皆さまにおかれては、既に学生の皆さんに送信、HP 掲載済みの「学生向け_オンライン受講準備_依頼」もご確認いただいたうえで、特に以下の点をご理解いただき、ご配慮を宜しくお願いいたします。

機器類については、可能な限りカメラ、マイク・スピーカー（ヘッドフォンなど）が搭載された PC またはタブレットを準備してください。スマートフォンでも受講可能ですが、画面の大きさや機能に制限があります。また、オンライン授業の実施形態によっては課題とし

てレポートやプレゼンテーションの作成が求められる場合もありますので、PC または同等以上の性能を有するタブレットの利用を強く推奨します。

インターネットの通信環境については、自宅などでオンライン授業を快適に受講できるインターネット回線（光回線など）の準備をお願いします。モバイル Wi-Fi やスマートフォンなどモバイル回線によるインターネット通信を利用する場合には、契約プランの容量をご確認ください。期間や容量による速度制限があるプランの場合には、容量が不足する可能性があります。

②オンライン授業を受けるに当たっての心構えについて

わが国の大学における面接授業においては、学生は単位取得のためにやむなく出席している者が多く、真に授業を理解しようとして出席している者は少ないといわれています。

しかし、オンライン授業の場合には、学生一人一人が自らの意思で PC（パソコン）やスマホで授業を受けるため、その操作に向かわなければなりません。つまり、学生一人一人が能動的に授業を受けようとする意思を有することが前提となっており、この点こそがオンライン授業の最も優れた点であるといわれています。オンライン授業を契機として、学生諸君自らが能動的かつ意欲的に授業に取り組む習慣を身に付けて頂きたいと願っています。